



## 愛唱歌は三橋美智也 (上)

### 古城をオハコに

柏戸の愛唱歌は三橋美智也の「古城」だった。力士時代に引退して親方になってもパーティーなどに呼ばれることが多かった。余興になると「ここで一曲お願いします」と司会者に振られる。「俺は音痴だよ」と困惑しながらも、主賓格だったことも多かったから「もっと得意じゃないスピーチよりはまだいいか」と備えあれば憂いなし!?!で「古城」が用意されていた。松風騒ぐ丘の上古城よ独り 何惚ぶ…とマイ

クを握りしめ、ポーズも取らず武骨に歌い上げる。やや早口に「お粗末でした」と締め、自分の席に戻るのが一つのパターンだった。古城を仰ぎ、栄える時代に思いをよせながら、今はまさしくその通りだった。

### 新荒城の月として

「古城」は中学の音楽授業で習う土井晩翠作詞・滝廉太郎作曲で有名な「荒城の月」をイメージさせるが、

寂しいたずまの天守閣に無常をかみしめるというのが歌詞の内容だ。

三橋はくしくも柏戸と同じ平成8(1996)年(1月)66歳で亡くなってすでに24年たつ。全盛時はワンマンショーをすれば毎回満員札止めの人気者だった。

「三橋流の新荒城の月」を創作されたもので、狙いはずばり当たった。昭和34(1959)年7月に発売されたレコードは300万枚の大ヒット。その年のNHK紅白歌合戦でも披露された。

### 望郷の念呼ぶ歌声

この年柏戸は「富樫」から改名。前年、新入幕を果たし、三役にも上がった年だった。まさしく上昇一途の時期。雑誌などで若手ホープ座談会が設けられると「ワシは三橋美智也さんの歌が好きです」と語っている。世話をした子馬との別れを

「昭和35」も200万枚売れるなど二世を風靡した。民謡調で哀愁を帯びる歌声だった。16歳で上京、土俵に打ち込む柏戸にとって望郷の念を思い起こさせ、ひかれるものが多かったに違いない。

「わらにまみれてよー育てた栗毛 きょうは買われ

そうこうしているうちに三橋との交流が生まれ、ついに義兄弟の契りを結ぶまでになった。

と歌われる「達者でナ」

柏戸の初優勝は大関昇進後の36年初場所だが、場所中にかかわらず6日目・安念山に勝った足で、そのまま東京・有楽町の日劇で行われたコンサートに行き、舞台上でがちり握手する

と歌われる「達者でナ」

その白川は疎開時、少年時代の作家井上ひさしとも

と歌われる「達者でナ」

「接点」があった。柏戸は三橋の歌う「庄内おぼこ」が好きだったが、井上も「庄内おぼこ」に絡んでいた。

と歌われる「達者でナ」

〇…三橋美智也を若い人向けに説明すれば、CMを久しく見ている気がするが、明治のスナック菓子「カール」のCMソング。田園調布のアニメのバックで、例えば夏バージョンなら「おらがあ 木陰で一息つけばあ… いいもんだな ふるさとはあー」と歌われ「それにつけてもおやつはカール」の締め

と歌われる「達者でナ」

「カール」は今も西日本限定発売だそう。東日本地区ではカールおじさんをCMで見られないわけだ。

パーティーで熱唱の柏戸。「古城」を歌ったのかも



渡辺美智雄でも及川光博でもない元祖「ミッチー」だった(CDジャケットから)ほどの縁になった。

この頃、新進の人気力士というところで、芸能界との付き合いも生まれはじめた。

### 白川由美との縁も

その中で出会ったのが東宝女優・白川由美。気品のあふれる美しき「日本のケレス・ケリー」との評判があった。後に二谷英明と結婚。娘に二谷友里恵がいる。

2人の出会いは「山形つながり」。東京生まれの白川だが、ルーツは置賜・川西町にあり、戦時中は縁故疎開していた。柏戸は2歳年上の白川に懐き、姉のよう慕い、おっとりした白川も柏戸を弟のようにかわいがった。

毎週火曜日付に掲載

毎週火曜日付に掲載